

わが家の防災メモ

名前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先

■ 地震時の避難先

指定緊急避難場所	避難生活を送る場所①
家族の集合場所	避難生活を送る場所②

■ 水害時の避難先

指定緊急避難場所	避難生活を送る場所①
家族の集合場所	避難生活を送る場所②

防災関係機関一覧

施設名	所在地	電話番号
桶川市役所	桶川市泉 1-3-28	048-786-3211
埼玉県央広域消防本部 桶川消防署	桶川市北 1-25-23	048-773-1190
埼玉県央広域消防本部 桶川西分署	桶川市下日出谷 528 ※令和8年秋、桶川市川田谷地内に移転予定	048-788-0119
桶川北本水道企業団	北本市中丸 6-83	048-591-2775
上尾警察署桶川駅前交番	桶川市南 1-1-1	048-771-1114
上尾警察署坂田交番	桶川市坂田 1503-7	048-728-4701
上尾警察署若宮交番	桶川市若宮 1-4-24	048-787-3895
上尾警察署川田谷駐在所	桶川市川田谷 2817-11	048-787-0010
埼玉県中央病院	桶川市坂田 1726	048-776-0022
埼玉県危機管理防災部災害対策課	さいたま市浦和区高砂 3-15-1	048-830-8170
埼玉県鴻巣保健所	鴻巣市東 4-5-10	048-541-0249
埼玉県北本県土整備事務所	北本市東間 3-143	048-540-8200
国土交通省荒川上流河川事務所	川越市新宿町 3-12	049-246-6371
国土交通省利根川上流河川事務所	久喜市栗橋北 2-19-1	0480-52-3952
国土交通省大宮国道事務所	さいたま市北区吉野町 1-435	048-669-1200
熊谷地方気象台	熊谷市桜町 1-6-10	03-5422-1018
NTT東日本(株) 埼玉支店	さいたま市浦和区常盤 5-8-17	113
東京電力パワーグリッド(株)	さいたま市浦和区北浦和 5-14-2	0120-995-007
(株) エナジー宇宙	北本市古市場 1-5	0120-1031-24

See this info
in your own language.

桶川市防災ガイドブックは
多言語に対応しています

English

中文(简体)

中文(繁體)

한국어

Tiếng Việt

ภาษาไทย

Bahasa Indonesia

Português

Español



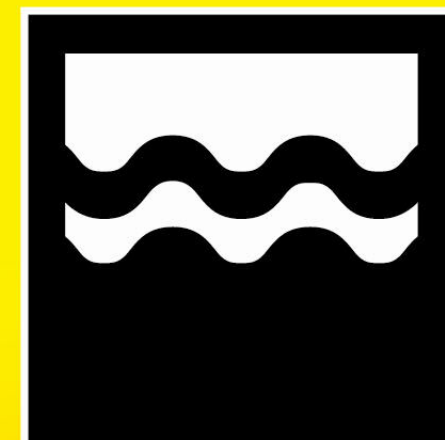
桶川市

防災ガイドブック

保存版

令和8年1月

災害時にすぐに取り出せる場所で大切に保管してください



桶川市防災ガイドブックの使い方

- 1 まず、ご自身が住んでいる場所に災害の危険があるか確認しましょう
- 2 次に、自分たちが避難する場所に印をつけましょう
- 3 次に、避難経路を実際に歩いて確認しましょう
- 4 さらに、日ごろから災害に対する備えや対処方法を確認しましょう



日ごろからの備え

地震ハザードマップ

洪水ハザードマップ



桶川市マスコットキャラクター「オケちゃん」

消防(火事・救急)

119 番

警察(事件・事故)

110 番

災害用伝言ダイヤル

171 番

発行 令和8年1月

桶川市 環境経済部 安心安全課

電話 048-786-3211

はじめに



様々な自然災害が激甚化・頻発化する近年、本市においても、2019年10月に発生した令和元年東日本台風(台風19号)では、床上床下浸水のほか、多数の道路冠水や倒木などの被害が発生しました。市では初めて避難勧告(令和3年5月から避難指示(警戒レベル4))を発令し、10か所の避難所を開設する状況となりました。

いつどのような災害が発生するか予測することは難しいですが、万が一災害が発生した際に、被害を最小限に抑えようと同時に、市や関係機関による公的支援である「公助」を速やかに機能出来るように備えることが重要です。そして何よりも市民の皆様一人ひとりが自分(家族)の安全は自ら守るという「自助」の意識と、自分たちの地域は皆で協力して守るという「共助」の意識のもとで、日頃から避難場所の確認や、非常用の持ち物の準備など、万が一の災害に対して備えておくことが大切です。

この度完成した『桶川市防災ガイドブック』は、地震や洪水などの各種災害に対する備えや対処方法、避難所情報、防災情報の入手方法など、災害時に役立つ情報を記載しております。また、一人ひとりの防災行動計画である「マイ・タイムライン」の作成方法も掲載しておりますので、ご家庭で話し合いながら「マイ・タイムライン」を作成いただくなど、本ガイドブックを活用していただけたら幸いです。

今後も引き続き安心・安全なまちづくりを目指し、防災・減災の取り組みを積極的に進めてまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年1月 桶川市長 小野 克典

もくじ □□

日ごろからの備え

避難場所と避難所	3
自助・共助・公助	4
自主防災組織	4
非常用持ち出し品と備蓄品	5
屋内の備え	6
屋外の備え	6
災害時の情報入手	7
安否情報の連絡方法	7
避難所生活の心得	8
配慮が必要な人や困っている人を見かけたら声をかけましょう	8
心と身体のケア	9
応急手当と心肺蘇生	9

地震ハザードマップ

地震発生時の行動	10
地震発生時 避難の注意点	11
震度階級	11
揺れやすさマップ	12
液状化可能性マップ	14
建物倒壊危険度マップ	15



洪水ハザードマップ

水害時の情報を入手	16
最新の気象情報・災害情報を入手	17
雨の降り方と雨量の関係	17
基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保	18
水害発生時 避難の注意点	18
早めの避難	19
避難行動を確認しましょう	19
マイ・タイムラインを作成しましょう	20
全河川合成版(市全域)	22
全河川合成版(詳細図1)	24
全河川合成版(詳細図2)	26
全河川合成版(詳細図3)	28
各河川の浸水想定区域図	30
浸水継続時間図	31
浸水シミュレーション	31

日ごろからの備え

備え

避難場所と避難所

指定緊急避難場所

- 火事や建物の倒壊などの危険から、すぐに逃げる場所です。
- 公園、学校の校庭などが該当します。
- 地域住民の集合場所などの役割もあります。

指定避難所

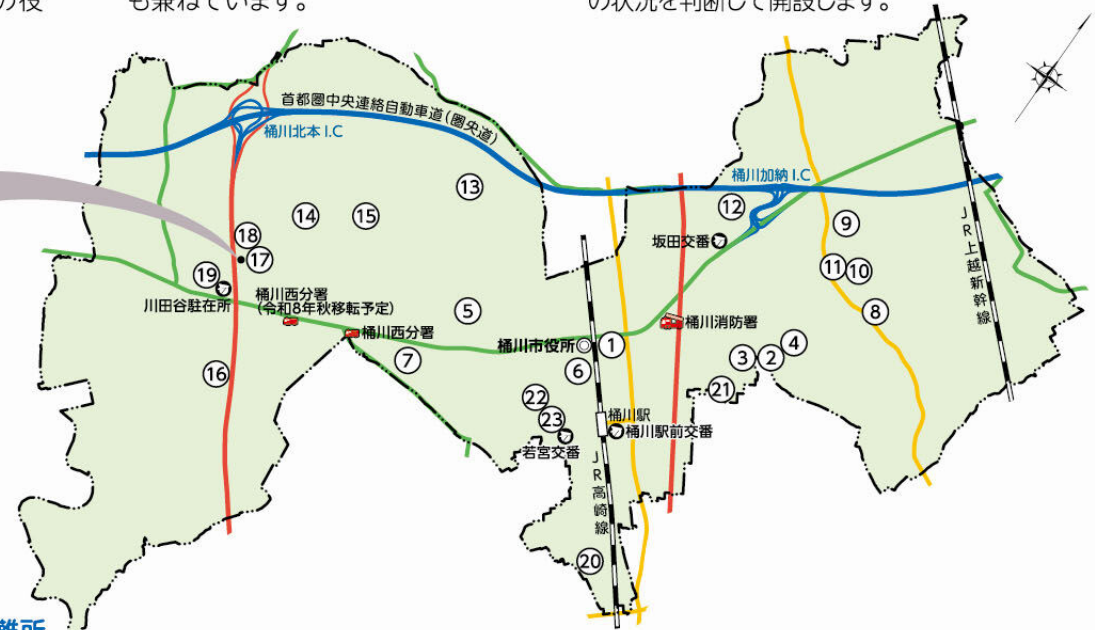
- 市が開設する、自宅に住めなくなった人の一時的な滞在施設です。
- 市内の小・中学校などが該当します。
- 食料や支援物資の配給などの拠点も兼ねています。

指定福祉避難所

- 高齢者や障がいのある方など、特別な配慮が必要な要配慮者を対象とする一時的な避難・生活施設です。
- 災害時にすぐには開設せず、一般の指定避難所では生活に支障が出る方など、対象となる避難者の状況を判断して開設します。

道の駅(防災道の駅)「べに花の郷おけがわ」

令和7年3月に埼玉県で21番目の道の駅として開業。同年5月には国土交通省から、大規模災害時に広域的な防災拠点(消防、警察等の救援活動の拠点など)としての役割を担う防災道の駅に選定されました。



指定緊急避難場所・指定避難所

地区	番号	名称	所在地	電話番号	指定緊急避難場所		指定避難所		備考
					地震	風水害	地震	風水害	
桶川地区	①	桶川小学校	西1-4-27	048-771-1259	○	○	○	○	地区内活動拠点校
	②	桶川東小学校	坂田西1-7-1	048-728-3886	○	○	○	○	地区内活動拠点校
桶川東地区	③	桶川東中学校	末広3-19-28	048-728-4461	○	○	○	○	
	④	坂田コミュニティセンター	坂田東2-3-1	048-776-9106	—	—	○	○	
桶川西地区	⑤	桶川西小学校	下日出谷836-1	048-786-3760	○	○	○	○	地区内活動拠点校
	⑥	桶川中学校	泉1-5-10	048-787-1311	○	○	○	○	
	⑦	桶川サン・アリーナ	下日出谷西2-4-1	048-787-5111	○	○	○	○	
加納地区	⑧	加納小学校	坂田883	048-728-3533	○	○	○	○	地区内活動拠点校
	⑨	加納中学校	加納1279	048-728-3061	○	○	○	○	
	⑩	県立桶川高等学校	坂田945	048-728-4421	○	○	○	○	
	⑪	加納公民館	坂田982-5	048-728-1040	○	○	○	○	
	⑫	べに花ふるさと館	加納419-1	048-729-1611	○	○	○	○	
日出谷地区	⑬	日出谷小学校	上日出谷885	048-786-2880	○	○	○	○	地区内活動拠点校
川田谷地区	⑭	川田谷小学校	川田谷4213	048-786-1335	○	○	○	○	地区内活動拠点校
	⑮	桶川西中学校	川田谷3680-1	048-787-1342	○	—	○	—	
	⑯	県立桶川西高等学校	川田谷1531-2	048-787-0081	○	—	○	—	
	⑰	農業センター	川田谷4414	048-786-1200	○	○	○	○	
	⑱	川田谷生涯学習センター	川田谷4405-4	048-786-4030	○	○	○	○	
	⑲	城山公園	川田谷2839-11	048-786-5881	○	—	—	—	指定広域避難場所
朝日地区	⑳	朝日小学校	朝日2-18-1	048-771-3775	○	○	○	○	地区内活動拠点校

指定福祉避難所

⑳	老人福祉センター(総合福祉センター内)	末広2-8-29	048-728-1122	○	○	○	○	
㉑	保健センター	鴨川1-4-1	048-786-1855	○	○	○	○	

一時滞在施設(交通機関の運行が停止した場合に、駅周辺に発生した滞留者が短期的に滞在する場所)

㉒	桶川市民ホール	若宮1-5-9	048-789-1113	—	—	—	—	
---	---------	---------	--------------	---	---	---	---	--

自助・共助・公助

大規模災害の発生時、市や消防、警察などが迅速に救出・救助、消火活動ができるようにするためにも、市民一人ひとりが地域の人たちと協力しながら率先して行動することが大切です。

自助とは

自分(家族)の身体・命を自分で守ること

- 家庭での備蓄(非常用持ち出し品、備蓄品)
- 住宅の耐震化、家具の転倒防止
- 日ごろから家族会議を開き、家族が別々の場所で被災した時の連絡方法、集合場所、避難場所などを確認しておきましょう。



自助

共助

共助とは

近所や地域コミュニティ、自主防災組織、企業などが共に助け合うこと

- 自主防災活動への参加
- 地域の防災訓練の実施及び参加
- 災害発生時の安否確認、避難誘導
- 地域の高齢者、障がい者等の支援



公助

公助とは

行政機関、消防、警察などによる救助・支援のこと

- 防災対策の整備
- 地域防災計画の策定、実施
- 災害復旧への取り組み
- 自助、共助への支援
- 防災訓練の実施



自主防災組織

自主防災組織は、地域の方々が連携し自発的に防災活動を行う団体です。

■ 平時の活動

- 地域内の危険箇所や問題点を確認して改善
- 防災知識の普及・啓発活動
- 消防署などの指導のもとで地域の防災訓練を実施

■ 災害時の活動

- 初期消火、救出・救助活動
- 避難経路の安全を確認し、指定避難所へ誘導
- 防災関係機関と連絡を取り、住民に情報を伝達
- 避難所の立ち上げ、運営に協力



地区防災計画を作成しましょう

平成25年6月に災害対策基本法が改正され、「地区防災計画制度」が創設されました。地区防災計画とは、住民及び事業者が地域の特性を踏まえ、防災に関する日ごろからの準備や役割分担、防災訓練の内容などを具体的に定めた自発的な計画のことです。市では「桶川市地区防災計画作成マニュアル」を用意していますので、地域の皆様の「地区防災計画」作成の参考にしてください。

防災訓練に参加しましょう

市や町会・自主防災組織等は、さまざまな防災訓練を実施しております。みなさんの地域で行われている防災訓練へ参加し、防災意識を高めるとともに、もしものときに備えましょう。

桶川市避難行動要支援者登録制度のご案内

市では、災害時に自ら避難することが困難で、手助けが必要な方々(避難行動要支援者)の情報を登載した「避難行動要支援者名簿」を作成しています。名簿情報をあらかじめ避難を支援する方(避難支援等関係者)に提供することで、より円滑な情報伝達や迅速な避難支援を行えるようになります。

お問合せ先 桶川市 福祉部 社会福祉課 地域福祉係

桶川市 環境経済部 安心安全課 消防・防災係 (電話048-786-3211代表)



非常用持ち出し品と備蓄品

ライフラインが止まっても3日間程度(推奨7日間)は自力で生活できるよう備えておきましょう。

非常用持ち出し品

- 非常用持ち出し品は、リュックサックなど両手が空く袋にまとめます。
- 災害発生直後、すぐに取り出せる場所に保管します。
- 非常用持ち出し品には、家族構成にあわせて必要なもの(個別に必要なもの)を加えます。

貴重品

現金(硬貨含む)



貴重品

(通帳、印鑑、マイナンバーカード、免許証など)



連絡先メモ



衛生用品

処方薬
お薬手帳



救急セット
(ばんそうこう、風邪薬、とげぬきなど)



感染症対策用品
(マスク、消毒液、体温計、除菌ティッシュなど)



ティッシュペーパー
ウェットティッシュ



飲料水・食料品

飲料水

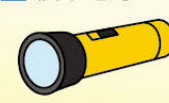


携帯食
(ビスケット、チョコなど)



その他

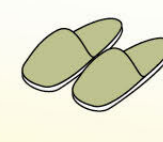
懐中電灯



スマートフォン
携帯電話
予備バッテリー



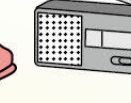
スリッパ



大判ハンカチ
手ぬぐい
タオル



携帯ラジオ



備蓄品

- 備蓄品には非常用持ち出し品のアイテムも含まれます。
- 備蓄品の食料品には、普段から食べ慣れているものを用意しましょう(食欲低下やストレスの防止)。
- 備蓄品は定期的に保存状態や消費期限を確認し、必要に応じて新しいものと入れ替えます。

停電への備え

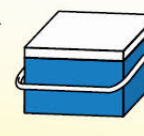
ランタン



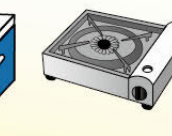
点検棒・ライター



クーラーボックス



カセットコンロ



予備電池



その他

ビニール袋



筆記用具



使い捨てカイロ



布ガムテープ



軍手



歯磨き用具・口腔ケア用品



トイレットペーパー

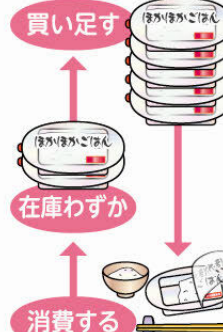


新聞紙



ローリングストック

ローリングストックは、飲料水やレトルト食品・缶詰など日持ちする食料品やトイレットペーパーなどの日用品を少し多めに買い置きし、日常の中で消費したら補充していく循環備蓄法です。



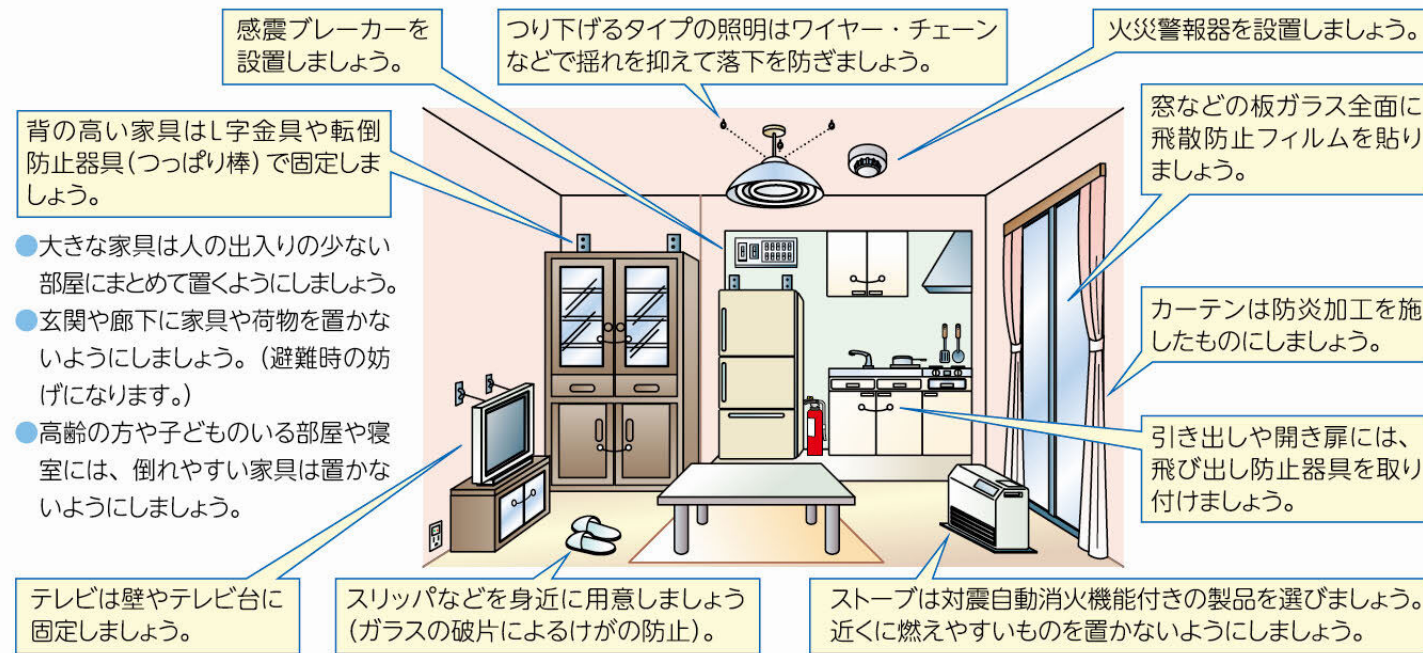
個別に用意するもの

- 乳幼児……………ミルク(粉・液体)、離乳食、おむつ・おしりふきなど
- 女性・妊婦……………生理用品、基礎化粧品、母子手帳、ガーゼなど
- 高齢者……………治療薬・高齢者用食品、介護用品(吸水パンツ)など
- 持病のある方……………アレルギー対応食品など
- ペット……………ペット用品(ケージ、フード、トイレ用品)など

埼玉県ホームページ「イツモ防災」の防災マニュアルブックに備蓄方法や必要量などが紹介されてますので参考にしてください。
▶<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/itsumobo-sai.html>



屋内の備え



家具の転倒防止をしましょう

大きな地震の際は家具の転倒などによる大きな被害を受ける可能性があります。埼玉県ホームページ「イツモ防災」の「防災マニュアルブック」などを参考にしましょう。
▶ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/05b-2001-1.html>



感震ブレーカー

地震の揺れを感知して自動的に電気を遮断し、通電火災(電気器具からの出火や停電復旧による火災)などを防止する器具です。さまざまなタイプがあるので設置しやすいものを選択しましょう。

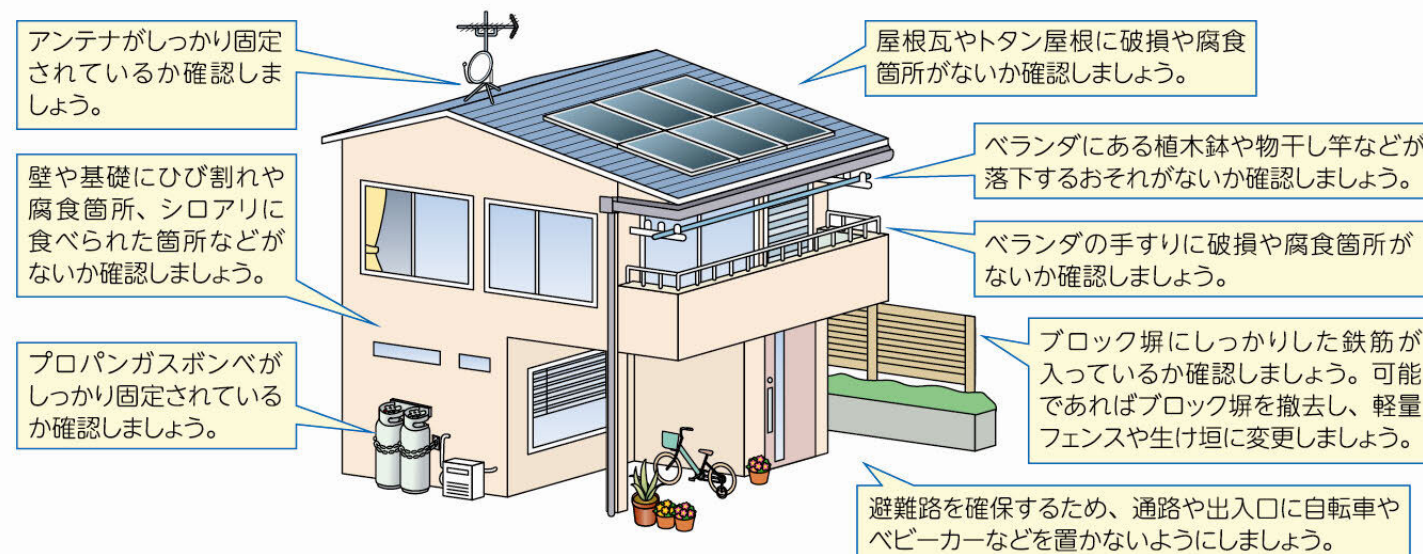
耐震診断費用の補助／耐震改修(耐震補強工事)費用の補助

お問合せ先 桶川市 都市整備部 建築課 建築指導係(電話048-786-3211代表)

桶川市家具転倒防止器具等設置費補助金

お問合せ先 桶川市 環境経済部 安心安全課 消防・防災係(電話048-786-3211代表)

屋外の備え



災害時の情報入手

デマに惑わされない情報入手

防災行政無線

避難指示などの避難情報は防災行政無線で呼びかけます。音声を確認できなかった場合、市のホームページや桶川市防災情報メール(要登録)、防災行政無線電話応答サービス(048-787-7300)で確認できます。

Yahoo!防災速報(スマートフォンアプリ)

▶ <https://emg.yahoo.co.jp/> スマートフォン「Yahoo!防災速報」をインストールし、アプリ内で桶川市を地点登録している方に各種情報(避難、ライフライン、災害時の注意喚起など)が配信されます。



桶川市ホームページ(防災)

▶ https://www.city.okegawa.lg.jp/kurashi/anshin_anzen/bousai/index.html

桶川市公式LINEアカウント

@okegawacity
▶ <https://lin.ee/nw55eI>

桶川市公式X(旧Twitter)

@okechan_okegawa
▶ https://x.com/okechan_okegawa

気象情報など水害時に必要な情報の入手 → P17

メール配信サービス(事前登録が必要です)

ご登録いただいたメールアドレスに対し、各種防災関連情報をお送りします。

登録方法

- ① 右記の二次元コードに空メールを送信します。
- ② 登録用アドレス記載のメールが返信されてきます。
- ③ 登録用アドレスにアクセスします。
- ④ サイトの指示に従って登録したら完了です。

※両メールともに無料でご利用頂けますが、メール受信に係るパケット料金などの通信費用は利用者の負担となります。また、メールは、ネットワークの混雑状況や通信インフラの性質上、遅延や配信されない場合があります。

●桶川市防災情報メール

okegawa-city_subscribe@jam2.oshirase-plus.jp
【配信情報】桶川市において発令された各種気象警報、桶川市の震度情報(震度5弱以上)、防災行政無線の放送内容(建物火災情報は除く)、国民保護情報、不審者情報など

●埼玉県防災情報メール

saitamaken@jijo.bosai.info
【配信情報】気象警報注意報、地震情報、竜巻注意情報、土砂災害警戒情報、洪水予報、熱中症警戒アラート、避難情報、避難所等情報、危機管理情報、埼玉県からのお知らせ

安否情報の連絡方法

安否情報を伝えましょう

家族や親戚等に、公衆電話やFAXなどで、安否や避難先を伝えましょう。NTTの災害用伝言ダイヤル「171」や携帯電話などの災害用伝言板サービスも利用できます。

サービスの体験利用提供日

毎月1日・15日、正月三が日(1月1日～1月3日)、防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)、防災週間(8月30日～9月5日)

NTT 災害用伝言ダイヤル「171」

音声で伝言を残せるサービスです。「171」をダイヤル後、ガイダンスにしたがって伝言を録音・再生します。

●伝言の録音

171 → 1 → 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

●伝言の再生

171 → 2 → 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル

NTT 災害用伝言板(web171)

▶ <https://www.web171.jp/> 携帯電話などのインターネット接続機能で、被災地の方が伝言を文字登録すると、携帯電話番号などから伝言を確認できます。スマートフォンでの利用方法は、各社ウェブサイトで確認してください。

携帯電話 災害用伝言板サービス

文字で伝言を残せるサービスです。

●NTTドコモ

▶ <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi>

●KDDI(au)

▶ <http://dengon.ezweb.ne.jp>

●ソフトバンク/ワイモバイル

▶ <http://dengon.softbank.ne.jp>

避難所生活の心得

生活ルールを守りましょう

- 起床や就寝の時間、トイレの使い方、喫煙場所、ペット同伴の可否など避難所のルールを守りましょう。
- ほかの人の居住スペースに立ち入ったり、のぞいたり、大声をあげたりするのはマナー違反です。

健康の管理に気を付けましょう

- エコノミークラス症候群を予防するために、適度な運動と水分補給をしましょう。
- 熱中症予防のため、水分補給、室温調整、衣服の工夫をしましょう。



食物アレルギー等の方々

- 日ごろから自分が食べられる食料を備蓄しておきましょう。
- 自分が食べられる食料が市の備蓄品にあるか事前に確認しておきましょう。
- 食物アレルギーであることが周りの人に分かってもらえるように工夫しましょう。

役割分担して運営に参加しましょう

- 避難者もできる範囲で、受付や清掃、炊き出し、物資の配布などの役割分担に協力しましょう。
- 助け合いながら避難所運営に参加しましょう。



犯罪に気を付けましょう

- 避難所では窃盗や詐欺、性犯罪、押し売りなどの犯罪に注意して、怪しい人を見かけたら、警察官や避難所運営担当者に連絡しましょう。
- 夜間にひとりでの行動は避けましょう。

感染症対策の徹底をしましょう

- マスクをつける、石鹸などでこまめに手を洗う、室内の換気を十分に行うなどの基本的な感染症対策を実行しましょう。



配慮が必要な人や困っている人を見かけたら声をかけましょう

高齢の方や障がいをお持ちの方

- 避難する場所を事前に確認して、まわりの人に災害時に避難の協力をしていただけるよう、日ごろからコミュニケーションをとっておきましょう。
- 話をする際は「ゆっくり、はっきり」を心がけましょう。
- 会話が難しい場合は、筆談や身振り手振りを交えます。

外国の方

- 日本語が通じない外国の方には、声をかけ、身振り手振りを交えたり、翻訳アプリを使用してコミュニケーションをとりましょう。



ペットの災害対策

市では、ペットと一緒に避難する「ペット同行避難」が原則です。ペット同行避難は、避難所に一緒に避難することですが、避難所の同じスペースで一緒に生活することではありません。避難所では動物嫌い、動物アレルギーの人など様々な人が集まります。ルールに従い周りに配慮した飼育管理を行いましょう。



- 日ごろからケージや首輪等に慣らしておく、決められた場所での排泄等、ペットのしつけをしておきましょう。
- 避難先でペットの飼育に必要なケージやフード、トイレ用品等は、基本的に飼い主が用意する必要があります。

性別による意識の違いと多様な性のありかたへの対応

- 異性には話しづらい、対応をお願いしづらいこともあります。
- 更衣室の利用方法、衣類や生理用品などの物資の配布、女性専用の洗濯場所やトイレなど女性への配慮が必要です。避難所の運営などに女性の意見を活かしていくことが重要です。
- 「男性なら〇〇」「女性なら〇〇」というような、性別による固定的な役割分担意識が生じるような会話や対応をとらないようにしましょう。
- 多様な性(LGBT=性的マイノリティ)の方も落ち着いて避難生活が送れるような支援を心がけましょう。

配慮が必要な方

- ヘルプマークやヘルプカードを身に付けている人を見かけたら、「どうしましたか?」と声をかけましょう。
- ヘルプカードには、ご本人が手助けしてもらいたいことや、配慮をお願いしたいことが書いてあります。
- 聴覚障害者用バンダナで「耳が聞こえません」を見えている人を見かけたら、手話や筆談でコミュニケーションをとりましょう。



▲ヘルプマーク



▲ヘルプカード

心と身体のケア

心のケア

ストレスへの対応



- ひとりで過ごさず、ほかの人とコミュニケーションをとりましょう。
- できるだけ休息や睡眠をとりましょう。
- つらい気持ちは「治す」というよりも「支え合う」ことが大切です。
- 悩み事はひとりで抱え込まず、身近な人や専門家に相談しましょう。

身体のケア

水分補給



- 排泄回数を減らして水分をとる量が減りがちになります。
- 脱水状態や尿路の感染症、心筋梗塞などを予防するために、こまめに水分をとりましょう。

感染症の予防

- 手洗い、うがい、咳エチケットを徹底しましょう。
- アルコール消毒液等により、手指消毒を行うほか、手すりやドアノブなどの多くの人が触れる場所を定期的に消毒しましょう。
- 発熱等の症状がある方は、ほかの避難者の方と別のスペースで生活していただくことがあります。



応急手当と心肺蘇生

応急手当

けが(出血)

傷口に清潔なタオルやガーゼを当て、その上から強く手で圧迫します。傷口を心臓よりも高い位置にすると止血効果が上がります。



骨折

副木(そえぎ)をあて、骨折箇所と、その上下2関節を固定します。傘、段ボール、座布団なども副木の代用になります。



やけど

できるだけ早く患部を流水で冷やします。衣類を着ている場合は無理に脱がさず、そのままの状態です。



救命救急

心肺蘇生の手順(人工呼吸省略の場合)

- ①意識・反応の有無を確認します。
 - ②119番通報を行い、AEDを用意します。
 - ③呼吸を確認します。
 - ④胸骨圧迫(30回)を行います。
 - ⑤AEDを使用します。
- ※胸骨圧迫(心臓マッサージは、強く・速く・絶え間なく)

AEDの使い方

- ①電源を入れます。音声案内に従って操作します。
- ②電極パッドを右胸と左わき腹に貼ります。
- ③AEDが電気ショックの必要性を判断します。必要があればショックボタンを押します。



市で管理しているAED設置場所



携帯トイレの使い方

- ①携帯トイレ(便袋)に便器内の水がつかないように、便器にポリ袋などをかぶせた後、その上から携帯トイレ(便袋)を設置します。
- ②排泄後、汚物を固めます。凝固剤タイプなどがあります。製品の説明書をよく確認しましょう。
- ③便袋内の空気を抜いて、しっかりと口を結びます。
- ④密閉できる容器に入れて収集まで保管します。



地震発生時の行動

■ 自宅にいる場合

揺れを感じたら

安全確保行動！



地震の揺れから身を守る
3つの安全行動
(シェイクアウト)

揺れ方によっては机の下などにもぐれないこともあります。

「その瞬間」にできる最大限の安全策をとりましょう。

震度5弱の地震では大半の人が恐怖を感じ、これ以上の震度になれば、身の安全を図ろうとしても、揺れによる足のふらつきや恐怖による身体の硬直などで、平常時のような動作が行えない可能性があります。
また、揺れが起きた状況(階段の昇降中など)や、子どもや高齢者など足腰の弱い人は、震度が小さくても思わぬ怪我をすることがあります。

※上イラスト提供：効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

強い揺れの
時間は
20秒～1分間
程度

揺れがおさまったら

次の地震に備えましょう

火を消して、避難路を確保しましょう

■ 安全確認・避難準備

- 火元を確認する。
- 玄関や窓を開けて出口を確保。窓や扉が閉まらないように手近なものを挟む。
- 声をかけて家族の安否を確認する。

■ 状況確認・減災活動

- 近所の人や建物の状態を確認する。
- 正しい情報を確認する。
- 避難するときはガスの元栓を閉める。電気のブレーカーを切る。
- 周囲の救出、救助、消火活動に参加する。



■ 外出先の場合

揺れを感じたら

道路・路地

- 倒れる危険性のあるものから離れる
- 落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する

繁華街・大きな建物

- 商品棚から離れ、柱や壁際に身を寄せる
- 落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する

地下街

- 倒れる危険性のあるものから離れる
- 柱や壁際に身を寄せる
- 照明等の落下物に注意し、頭をカバンなどで保護する

エレベーター内

- すべての階のボタンを押し、停止した階ですぐに降りる
- 自動的に最寄階に停止し、扉が開いたらすぐに降りる

運転中

- 状況により、震度4ぐらいから揺れを感じる人もいる
- 徐々にスピードを落として、道路の左側に停車
- エンジン进行、揺れがおさまるまで車内に留まる

電車・バス

- 緊急停車・急ブレーキに備える
- 座席に座っている場合は、低い姿勢をとり、頭を保護する
- 立っている場合は、つり革や手すりをしっかりと握る

揺れがおさまったら

- 広い公園や耐震性の高いビルの中に避難する

- 店舗では場内放送や係員の指示に従う
- 最新のビルは耐震性が高いので、あわてて外には出ない

- 館内放送や係員の指示に従い、一つの非常口に殺到せず地上に出る
- 停電時は非常用照明が点灯するのを待つ

- 閉じ込められた場合は、インターホンで通報し、救助を待つ
- 停電しても、すぐに非常用照明が点灯するのであわてない

- 避難するときは、車のキーをつけたまま、ドアをロックせずに窓を閉める

- 停車後は、乗務員の指示に従う
- 車内から勝手に出ない



地震後のトイレの確認

大きな地震で、排水管や排水設備、浄化槽が破損することがあります。破損が無い確認してからトイレを使うようにしましょう。特にマンションなどでは下の階で汚水が溢れるなどの事故が起こる可能性があります。

埼玉県ホームページ「イツモ防災」
家庭における災害時のトイレ対策編
にチェック項目が掲載されていますので
参考にしてください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0401/05b00-2001.html>



地震発生時 避難の注意点

■ ご近所と声をかけ合いましょう

地震などにより、避難の必要がある時、または避難の呼びかけがある時は、ご近所の人たちと声をかけ合い、速やかに避難してください。



■ 電気やガスの元栓を閉めましょう

避難の際には電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。電気やガスが復旧した際に、出火する危険性があります。電話の受話器も戻しておきましょう。



■ 初期消火に協力を

天井に燃え移る前の火が小さい初期段階であれば、周囲の人に大声で知らせ、協力して初期消火器具や風呂の残り湯などを利用して消火できます。



■ 要配慮者への支援を

高齢者や体に不自由のある方、地震で怪我をされた方は、災害時に避難行動や避難生活などで困難な状況に置かれることが多いので、周囲の方々は積極的に支援・協力してください。



■ 帰宅困難になったときの心得

外出先で大地震が発生した場合は、「むやみに移動を開始しない」ことが前提ですが、やむを得ず徒歩で帰宅する際は、以下の心得をもとに、適切な行動をとってください。

徒歩帰宅の心得7カ条

- 留まる**
 - 連絡手段、事前に家族で話し合い
 - 携帯も、ラジオも必ず予備電池
- 知る**
 - 日ごろから、帰宅経路をシミュレーション
 - 災害時の味方、帰宅支援ステーション
- 帰る**
 - 職場には、小さなリュックとスニーカー
 - 帰宅前には、状況確認
 - 助け合い、励まし合って徒歩帰宅

震度階級

■ 揺れなどの現象や被害の目安

日ごろから地震の被害をイメージし、いざという時に速やかな対応ができるよう、心がけておきましょう。

4	震度4 ● ほとんどの人が驚く。 ● 電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ● 座りの悪い置物が、倒れることがある。
5弱	震度5弱 ● 大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ● 棚にある食器類や本が落ちることがある。 ● 固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
5強	震度5強 ● 物につかまらなると歩くことが難しい。 ● 棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ● 固定していない家具が倒れることがある。 ● 補強されていないブロック塀が崩れることがある。

6弱	震度6弱 ● 立っていることが困難になる。 ● 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ● ドアが開かなくなることがある。 ● 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ● 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
6強	震度6強 ● はわなないと動くことができない。飛ばされることもある。 ● 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ● 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体崩壊が発生することがある。
7	震度7 ● 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 ● 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ● 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

地震ハザードマップ

地震ハザードマップは、桶川市に大きな影響を及ぼすと考えられる地震を想定し、揺れやすさ(震度)、液状化の可能性、建物倒壊の危険度を予測したものです。この地震ハザードマップを参考にして、日ごろからの備えに役立ててください。

想定地震

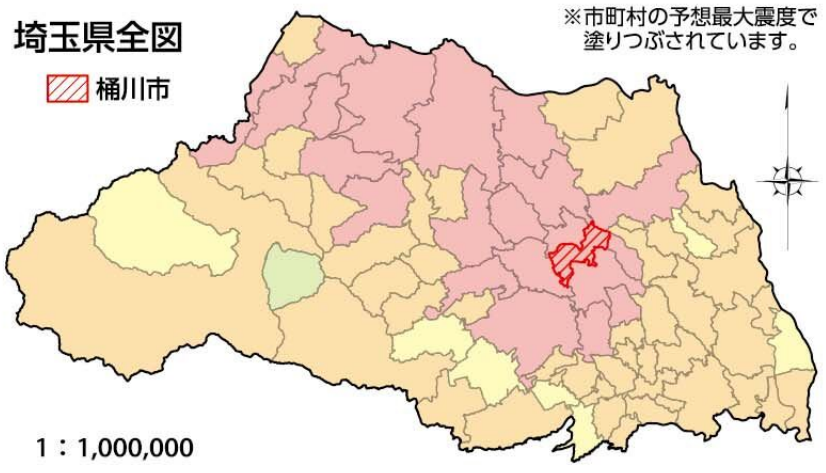
埼玉県が想定した5地震8パターン(茨城県南部地震、東京湾北部地震、元禄型関東地震、関東平野北西縁断層帯地震(北、中、南)、立川断層帯地震(北、南))による結果を重ね合わせた最大値をもとに作成しました。(平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査より)

揺れやすさマップ

桶川市は最大で震度7が想定されます。このマップで表示した震度は、地震の規模や震源への距離から予測した平均的な揺れの大きさであり、地震の発生仕方によっては、揺れがこれよりも強くなったり、弱くなったりすることがあります。



最大震度



想定地震と断層の位置



凡	例
	緊急避難場所兼避難所
	避難場所
	避難所
	一時滞在施設
	市役所
	消防署・分署
	交番・駐在所
	救急告示病院
	道の駅
	行政界
	自動車専用道路
	国道
	主要地方道
	一般県道
	鉄道

避難場所・避難所は3ページ参照

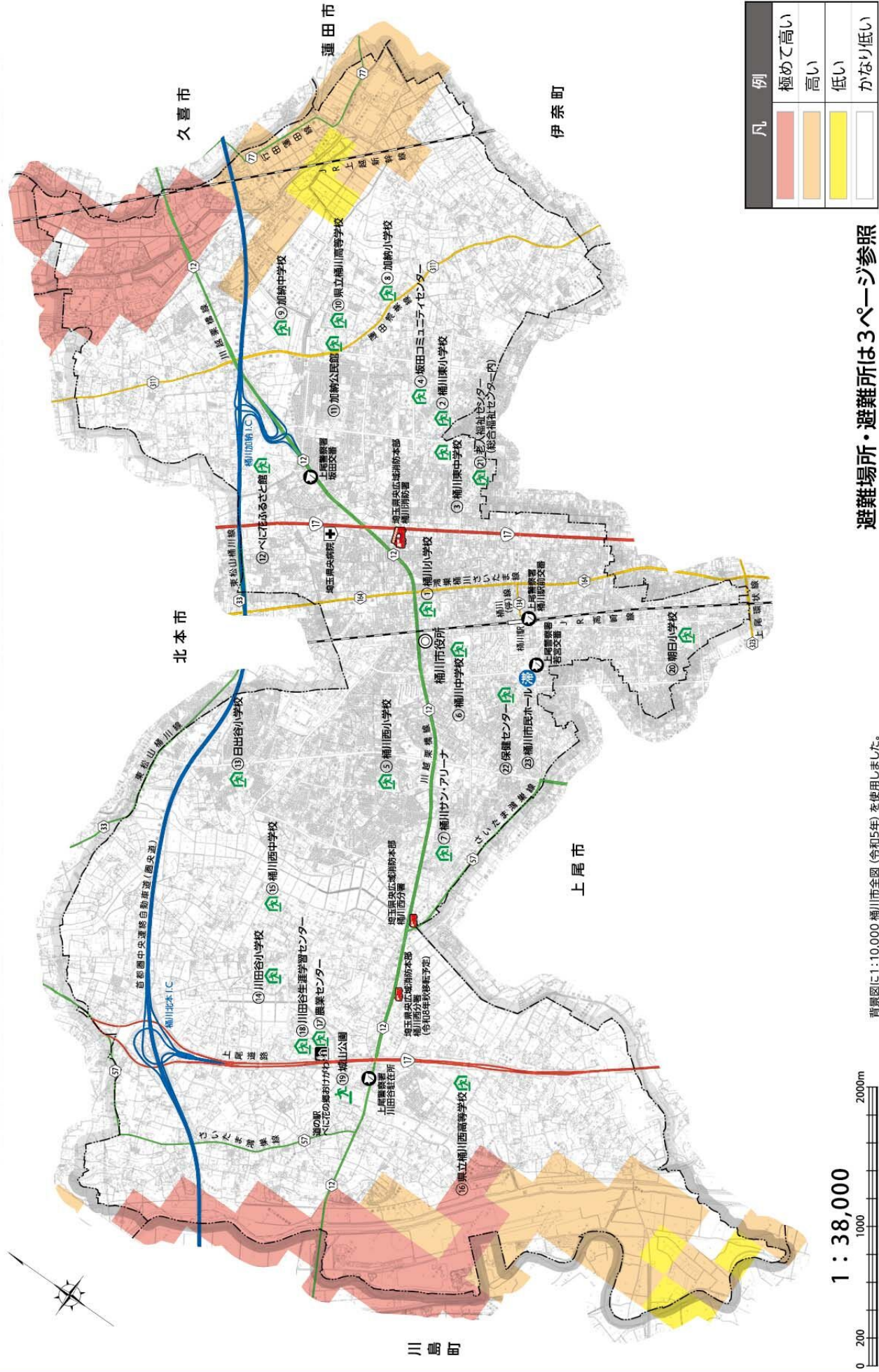
1 : 25,000
0 100 500 1000m
背景図に1:10,000 桶川市全図(令和5年)を使用しました。

液状化可能性マップ

この液状化可能性マップは、それぞれの地域の地形・地盤の特性を考慮して、各地点の揺れの大きさに基づいた液状化の可能性を評価し、取りまとめたものです。一般的に軟らかい砂層がある地盤は液状化しやすいです。
なお、このマップで表示した液状化可能性は、得られた地盤情報に基づく予測値であり、実際には人工造成地などで局所的に発生することもあるため、液状化の発生箇所や規模は変動することがあります。

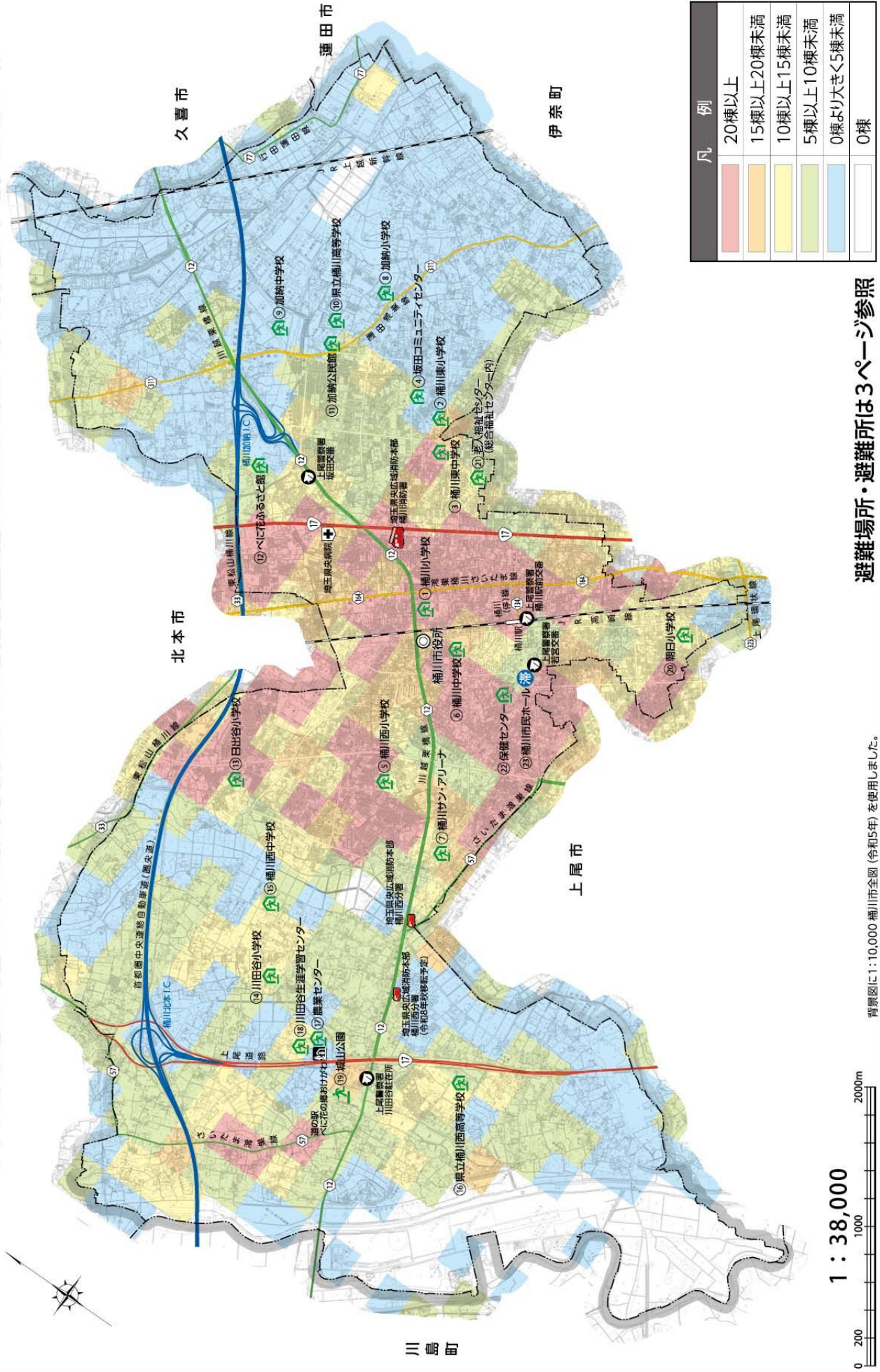
地震ハザードマップ

地震ハザードマップは、桶川市に大きな影響を及ぼすと考えられる地震を想定し、揺れやすさ(震度)、液状化の可能性、建物倒壊の危険度を予測したものです。この地震ハザードマップを参考にして、日ごろからの備えに役立ててください。



建物倒壊危険度マップ

揺れやすさと市内の建築物データを基に、揺れやすさマップで示した強さの揺れとなった場合に、建物に被害が生じる程度を危険度として、地震による揺れによって発生する建物被害想定を分布図により評価して示したものです。
この「危険度」は、建物被害の原因である「揺れ」から建物種類(木造・非木造)及び建築年次などを考慮して建物想定被害(建物の全壊)の割合を250mメッシュでランク分けしたものです。



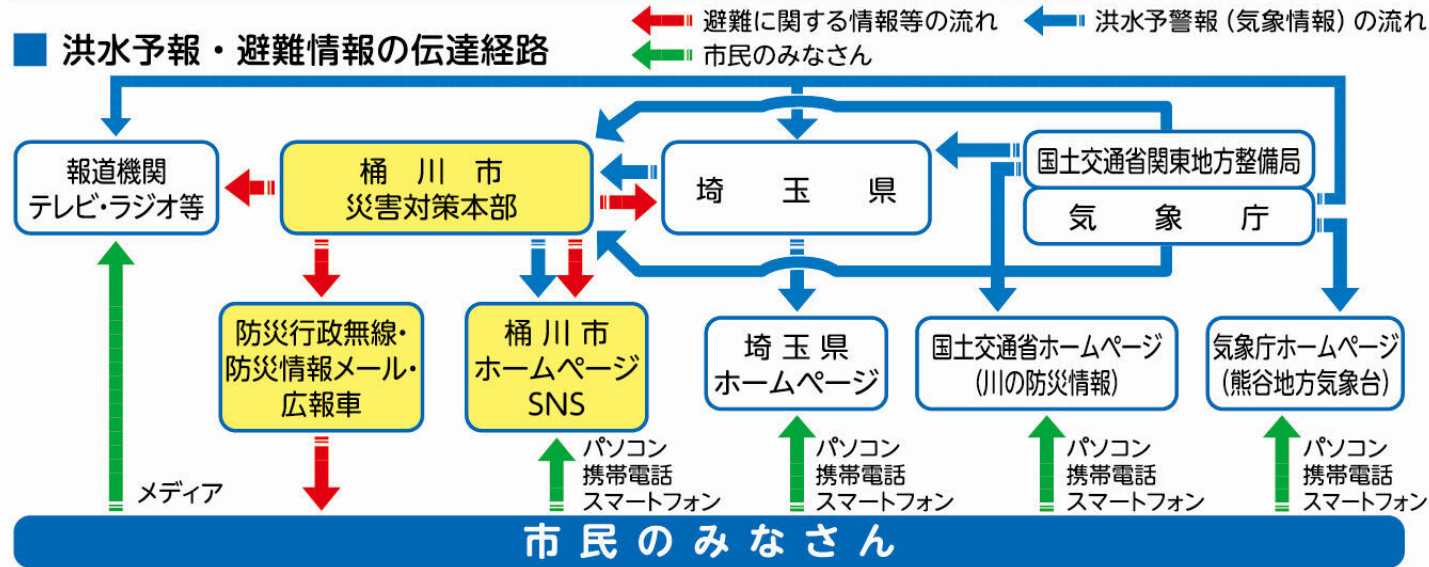
想定地震

埼玉県が想定した5地震8パターン(茨城県南部地震、東京湾北部地震、元禄型関東地震、関東平野北西縁断層帯地震(北、中、南)、立川断層帯地震(北、南))による結果を重ね合わせた最大値をもとに作成しました。(平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査より)

避難場所・避難所は3ページ参照

背景図に1:10,000 桶川市全国(令和5年)を使用しました。

水害時の情報入手



避難情報の種類 ※令和8年度出水期から運用開始予定。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	避難情報の種類	（警戒レベルごとに）住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	避難指示	危険な場所から 全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	高齢者等避難	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報		避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

防災気象情報を利用して避難行動に役立てましょう

気象庁などから線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合（気象防災速報）や現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える情報（気象解説情報）が提供されます。

気象防災速報

この情報が発表されたら、キキルなどの他の防災気象情報や、自治体が発令する避難情報にも留意し、身の安全を確保してください。

- 【例】 ● 気象防災速報（線状降水帯発生）
● 気象防災速報（記録的短時間大雨）

気象解説情報

現在の気象状況と今後の見込みを伝え、災害への備えや今後の行動の検討や判断を後押しする情報です。

- 【例】 ● 気象解説情報（台風第〇号）
● 気象解説情報（線状降水帯半日前予測）

洪水情報の発表基準

令和7年現在

	水防団待機水位	氾濫注意水位	避難判断水位	氾濫危険水位
荒川水位 熊谷水位観測所	3.00m	3.50m	5.00m	5.50m
利根川水位 八斗島水位観測所	0.80m	1.90m	3.10m	4.10m

最新の気象情報・災害情報入手

気象庁ホームページ

▶ <https://www.jma.go.jp/>
キキル（危険度分布）や最新の気象情報、台風・大雨・土砂災害・竜巻に関する情報、今後の推移などが確認できます。



荒川上流河川事務所（国土交通省）

▶ <https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/>
荒川の水位・雨量やライブ映像を公開しています。



利根川上流河川事務所（国土交通省）

▶ <https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/>
利根川の水位・雨量やライブ映像を公開しています。



川の防災情報（国土交通省）

▶ <https://www.river.go.jp/>
川や雨の状況、避難情報などが確認できます。



川の防災情報（埼玉県）

▶ <https://www.pref.saitama.lg.jp/a1007/kawanobousai.html>
河川水位や雨量などの県内河川情報を提供します。



テレビのデータ放送

NHK（地デジ1ch）、テレビ埼玉（地デジ3ch）でリモコンのdボタンを押すと、桶川市の災害情報が確認できます。



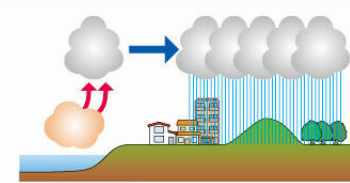
雨の降り方と雨量の関係

雨の降り方と雨量の関係を知り、避難活動に役立てましょう。

	やや強い雨 (10～20 mm)	強い雨 (20～30 mm)	激しい雨 (30～50 mm)	非常に激しい雨 (50～80 mm)	猛烈な雨 (80 mm以上)
予報用語 (1時間雨量)					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる		
屋内 (木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる		
車の運転は	—	ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険	

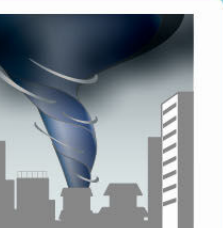
線状降水帯について

発達した積乱雲が帯状に連なり、同じ場所に長時間にわたって強い雨を降らせる現象で、短時間で猛烈な雨が降り、河川の氾濫や土砂災害などの甚大な被害を引き起こすことがあります。気象庁による情報は「気象防災速報（線状降水帯発生）」、「気象防災速報（線状降水帯直前予測）」、「気象解説情報（線状降水帯半日前予測）」があります（令和8年度出水期から運用開始予定）。キキル（危険度分布）などやほかの大雨の情報と合わせて活用しながら、大雨災害に備えてください。



竜巻について

竜巻は、発達した積乱雲に伴う強い上昇気流により、発生する激しい渦巻きです。被害地域は帯状になることが多く、直径は数十～数百m、移動距離は数kmに達します。真っ黒な雲が近づき周囲が急に暗くなるなど、竜巻の前兆現象が確認されたら、頑丈な建物の中に避難してください。



基本は立ち退き避難、次に緊急時の屋内安全確保（在宅避難）

風水害での避難行動では、災害が発生する前に危険性がある場所から避難する「立ち退き避難」が基本です。

しかし、「立ち退き避難」を行う余裕がない場合や、悪天候などにより外出することが危険な場合は、「屋内安全確保」で身体と命を守りましょう。

避難情報が発令されていなくても、
その場に留まると危険と判断したら、
自主的に立ち退き避難を開始してください。



水害発生時 避難の注意点

正確な情報収集と自主的避難

ラジオやテレビ・携帯電話を利用し、最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。

雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



避難の前に確認

避難する前に、ガス、電気、火の元を点検しましょう。

避難場所を確認し、途中で家族が離散したときの行動も決めておきましょう。



水面下の危険にも注意

避難の際は、できる限り高さのある道路を通るようにしましょう。

浸水場所では、側溝やふたがはずれたマンホールなどに注意しましょう。



車での避難は避ける

車での避難は緊急車両の通行を妨げますので、特別の場合を除きやめましょう。

また、車を堤防や道路に放置すると、水防活動の妨げになりますので、やめましょう。



避難の呼びかけに注意

危険が迫ったときには、市や消防団から避難の呼びかけをします。その場合には、速やかに避難してください。



動きやすい服装で、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。

できる限り単独での避難は避け、近所で声をかけ合って避難しましょう。



逃げ遅れたら高い建物に避難

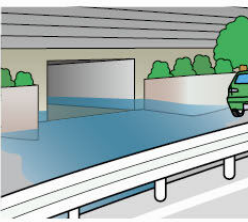
万一、逃げ遅れて避難場所まで行く余裕が無い場合は、近くの丈夫な建物の3階以上に避難して救助を待ちましょう。

建物の2階部分でも場所によっては危険な場合があります。



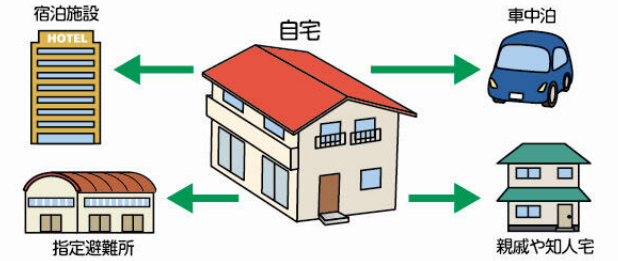
地下道・アンダーパスの通行は避ける

地下道やアンダーパスは、浸水時などに水深が深くなると予想されます。これらの道は避けて避難行動をとることが必要です。



早めの避難

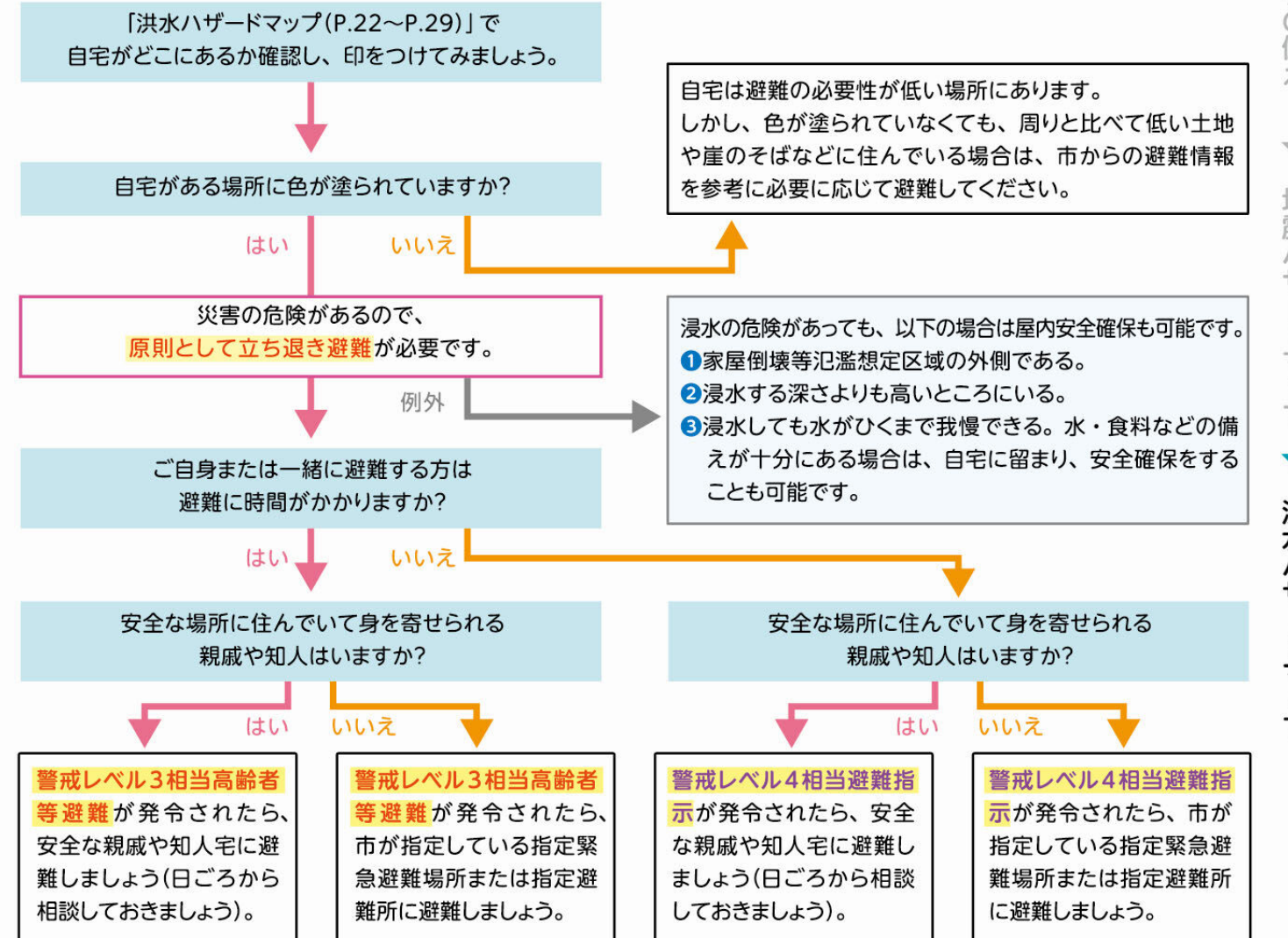
水害時における適切な避難行動や避難のタイミングは、一人ひとりのおかれた状況により異なります。市からの避難情報を参考にしたり、状況によっては自主避難をしましょう。早めに判断ができれば、避難所への避難以外に「親戚・知人宅」「ホテル」「車中泊」「在宅避難」など地域の人たちが分散して避難することもできます。今からできる備えを考えておきましょう。



避難行動を確認しましょう

避難行動判定フローで避難先を確認

避難行動判定フローは、台風や豪雨時に避難を始めるタイミングや避難先を検討するものです。「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、平常時から自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。



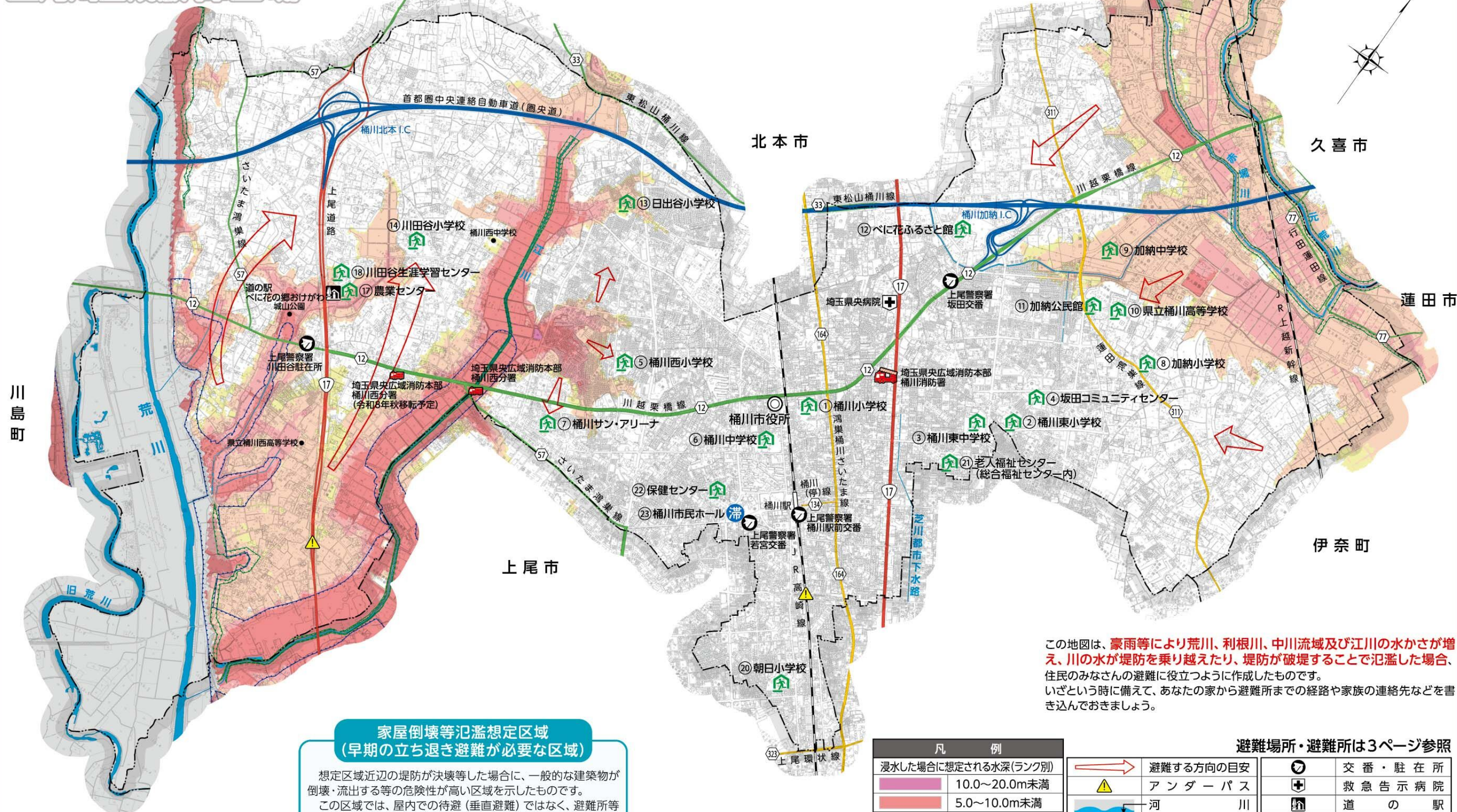
洪水ハザードマップ

このマップの浸水の範囲と浸水深は、桶川市に影響する荒川、利根川、中川流域及び江川において最大規模(1000年に1回程度)の降雨により、堤防の決壊などで河川が氾濫した時の最悪の浸水状況(すべての想定破堤点による浸水区域と浸水深を重ね合わせ)を表しています。

想定雨量

【荒川】 荒川流域の72時間総雨量が632mm(平成28年5月30日国土交通省指定)
【利根川】 利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量が491mm(平成29年7月20日国土交通省指定)
【中川流域】 中川流域の48時間総雨量が596mm(令和6年5月28日埼玉県指定)
【江川】 江川流域の24時間総雨量が690mm(令和6年5月28日埼玉県指定)

全河川合成版(市全域)



家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期の立ち退き避難が必要な区域)

想定区域近辺の堤防が決壊した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域を示したものです。
この区域では、屋内での待避(垂直避難)ではなく、避難所等への立ち退き避難(水平避難)の判断が必要となります。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) 洪水氾濫流により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) 洪水時の河岸侵食により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域

この地図は、豪雨等により荒川、利根川、中川流域及び江川の水かさが増え、川の水が堤防を乗り越えたり、堤防が破堤することで氾濫した場合、住民のみなさんの避難に役立つように作成したものです。
いざという時に備えて、あなたの家から避難所までの経路や家族の連絡先などを書き込んでおきましょう。

避難場所・避難所は3ページ参照

凡 例		避難場所・避難所は3ページ参照	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)		避難する方向の目安	交 番 ・ 駐 在 所
10.0~20.0m未満		アンダーパス	救急告示病院
5.0~10.0m未満		河 川	道 の 駅
3.0~5.0m未満		河 川 敷	行 政 界
0.5~3.0m未満		緊急避難場所兼避難所	自動車専用道路
0.0~0.5m未満		避難所	国 道
家屋倒壊等氾濫想定区域		一時滞在施設	主要地方道
氾濫流		市 役 所	一般県道
河岸侵食		消防署・分署	鉄 道

1 : 25,000

0 100 500 1000m

背景図に1:10,000 桶川市全図(令和5年)を使用しました。

洪水ハザードマップ

このマップの浸水の範囲と浸水深は、桶川市に影響する荒川、利根川、中川流域及び江川において最大規模(1000年に1回程度)の降雨により、堤防の決壊などで河川が氾濫した時の最悪の浸水状況(すべての想定破堤点による浸水区域と浸水深を重ね合わせ)を表しています。

想定雨量

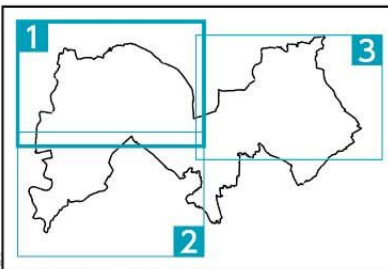
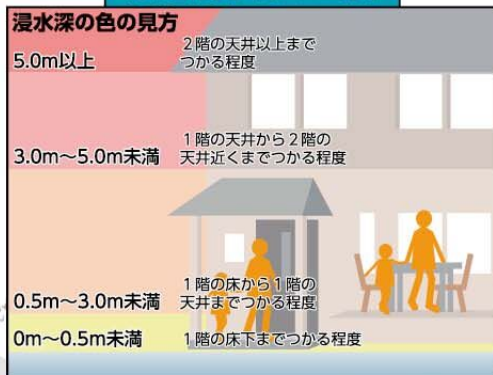
【荒川】 荒川流域の72時間総雨量が632mm (平成28年5月30日国土交通省指定)
【利根川】 利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量が491mm (平成29年7月20日国土交通省指定)
【中川流域】 中川流域の48時間総雨量が596mm (令和6年5月28日埼玉県指定)
【江川】 江川流域の24時間総雨量が690mm (令和6年5月28日埼玉県指定)

全河川合成版(詳細図 1)

凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	10.0~20.0m未満
	5.0~10.0m未満
	3.0~5.0m未満
	0.5~3.0m未満
	0.0~0.5m未満
家屋倒壊等氾濫想定区域	
	氾 濫 流
	河 岸 侵 食
	避難する方向の目安
	アンダーパス
	河 川 敷
	緊急避難場所兼避難所
	避 難 所
	一時滞在施設
	市 役 所
	消 防 署・分 署
	交 番・駐 在 所
	救 急 告 示 病 院
	道 の 駅
	行 政 界
	自動車専用道路
	国 道
	主 要 地 方 道
	一 般 県 道
	鉄 道

避難場所・避難所は3ページ参照

想定浸水深の目安



家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期の立ち退き避難が必要な区域)

想定区域近辺の堤防が決壊等した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域を示したものです。
この区域では、屋内での待避(垂直避難)ではなく、避難所等への立ち退き避難(水平避難)の判断が必要となります。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) 洪水氾濫流により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) 洪水時の河岸侵食により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域

北本市

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)

桶川北本I.C

さいたま鴻巣線

上尾道路

東松山桶川線

⑬ 日出谷小学校

⑭ 川田谷小学校

桶川西中学校

⑮ 川田谷生涯学習センター

⑯ 農業センター

道の駅 べに花の郷おけがわ

城山公園

上尾警察署 川田谷駐在所

埼玉県中央広域消防本部 桶川西分署 (令和8年秋移転予定)

埼玉県中央広域消防本部 桶川西分署

⑤ 桶川西小学校

⑦ 桶川サン・アリーナ

川越栗橋線

川島町

荒川

1 : 13,000

0 100 500 1000m

背景図に1:10,000 桶川市全図(令和5年)を使用しました。

洪水ハザードマップ

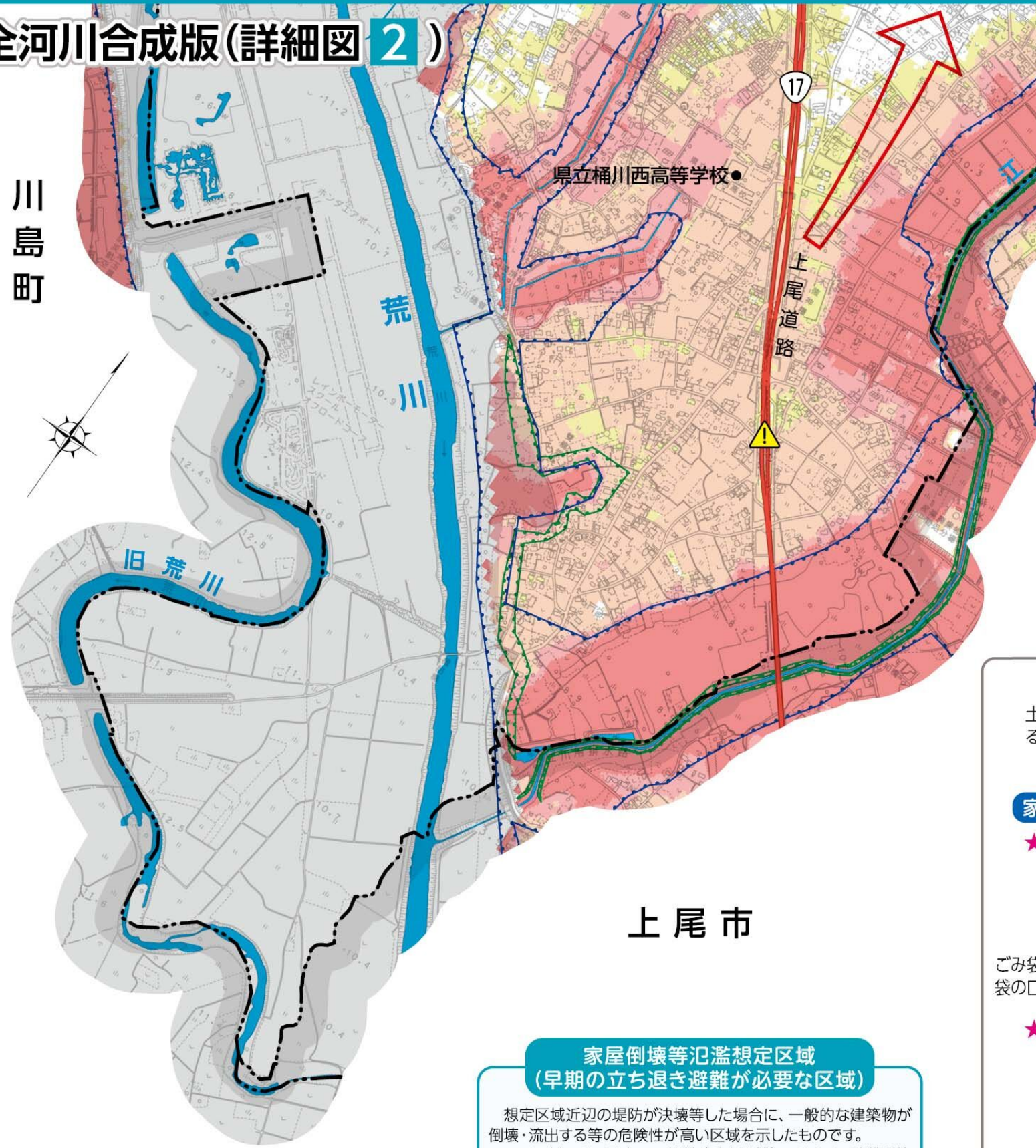
このマップの浸水の範囲と浸水深は、桶川市に影響する荒川、利根川、中川流域及び江川において最大規模(1000年に1回程度)の降雨により、堤防の決壊などで河川が氾濫した時の最悪の浸水状況(すべての想定破堤点による浸水区域と浸水深を重ね合わせ)を表しています。

想定雨量

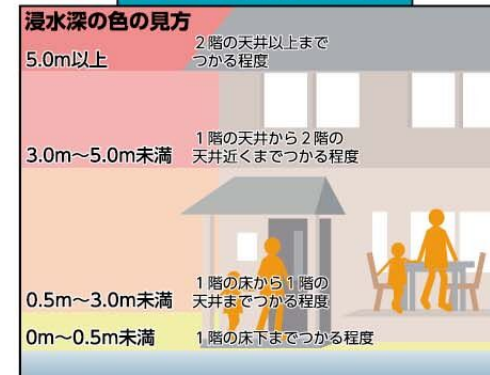
【荒川】 荒川流域の72時間総雨量が632mm(平成28年5月30日国土交通省指定)
 【利根川】 利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量が491mm(平成29年7月20日国土交通省指定)
 【中川流域】 中川流域の48時間総雨量が596mm(令和6年5月28日埼玉県指定)
 【江川】 江川流域の24時間総雨量が690mm(令和6年5月28日埼玉県指定)

全河川合成版(詳細図 2)

川島町



想定浸水深の目安



かんたんにできる水害への対策

土のうは浸水対策に有効な手段です。保管や用意することが大変な場合はつぎの方法も検討しましょう。

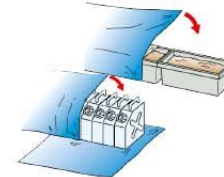
家庭にあるものを利用して浸水防止

★簡易水のうを活用して



ゴミ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水の水のうができます。

★プランターやポリタンクを活用して



プランターやポリタンクを並べてレジャーシート等で包み、浸水を防ぎます。

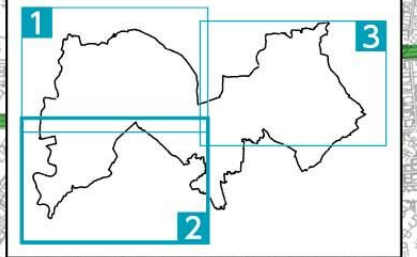
★止水板等を活用して



止水板や長めの板等を利用して水の水のうやポリタンクと組み合わせて、浸水を防ぎます。

桶川市止水板設置費補助金を活用しましょう

お問合せ先 桶川市 環境経済部 安心安全課 消防・防災係
 (電話048-786-3211代表)



②③ 保健センター

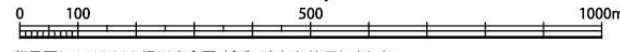
②③ 桶川市民ホール

上尾警察署 若宮交番

凡	例
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
10.0~20.0m未満	
5.0~10.0m未満	
3.0~5.0m未満	
0.5~3.0m未満	
0.0~0.5m未満	
家屋倒壊等氾濫想定区域	
氾濫流	
河岸侵食	
避難する方向の目安	
アンダーパス	
河川敷	
緊急避難場所兼避難所	
避難所	
一時滞在施設	
市役所	
消防署・分署	
交番・駐在所	
救急告示病院	
道の駅	
行政界	
自動車専用道路	
国道	
主要地方道	
一般県道	
鉄道	

避難場所・避難所は3ページ参照

1 : 13,000



背景図に1:10,000 桶川市全図(令和5年)を使用しました。

日ごろからの備え

地震ハザードマップ

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップ

このマップの浸水の範囲と浸水深は、桶川市に影響する荒川、利根川、中川流域及び江川において最大規模(1000年に1回程度)の降雨により、堤防の決壊などで河川が氾濫した時の最悪の浸水状況(すべての想定破堤点による浸水区域と浸水深を重ね合わせ)を表しています。

想定雨量

【荒川】 荒川流域の72時間総雨量が632mm (平成28年5月30日国土交通省指定)
【利根川】 利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量が491mm (平成29年7月20日国土交通省指定)
【中川流域】 中川流域の48時間総雨量が596mm (令和6年5月28日埼玉県指定)
【江川】 江川流域の24時間総雨量が690mm (令和6年5月28日埼玉県指定)

全河川合成版(詳細図 3)

かんたんに行える水害への対策

側溝や雨水ますの清掃



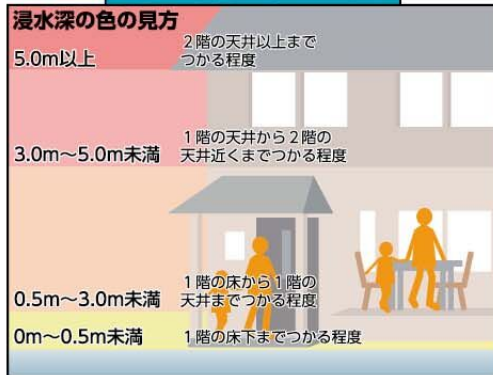
側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になるため、台風の接近や大雨が予想される場合には、近所の側溝や雨水ますが詰まっていないか確認し、清掃等を行っておきましょう。

家屋倒壊等氾濫想定区域 (早期の立ち退き避難が必要な区域)

想定区域近辺の堤防が決壊等した場合に、一般的な建築物が倒壊・流出する等の危険性が高い区域を示したものです。この区域では、屋内での待避(垂直避難)ではなく、避難所等への立ち退き避難(水平避難)の判断が必要となります。

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流) 洪水氾濫により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食) 洪水時の河岸侵食により、家屋が流失・倒壊するおそれがある区域

想定浸水深の目安



北本市

久喜市

蓮田市

伊奈町

凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
	10.0~20.0m未満
	5.0~10.0m未満
	3.0~5.0m未満
	0.5~3.0m未満
	0.0~0.5m未満
家屋倒壊等氾濫想定区域	
	氾濫流
	河岸侵食
	避難する方向の目安
	アンダーパス
	河川敷
	緊急避難場所兼避難所
	避難所
	一時滞在施設
	市役所
	消防署・分署
	交番・駐在所
	救急告示病院
	道の駅
	行政界
	自動車専用道路
	国道
	主要地方道
	一般県道
	鉄道

避難場所・避難所は3ページ参照

1 : 13,000
0 100 500 1000m
背景図に1:10,000 桶川市全図(令和5年)を使用しました。

洪水ハザードマップ

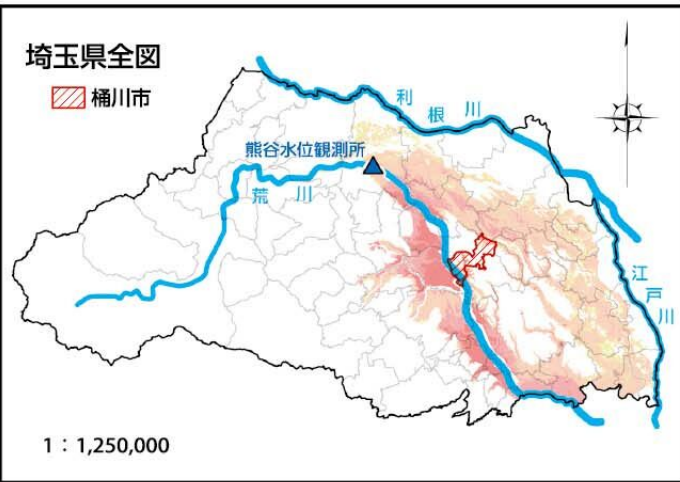
このマップの浸水の範囲と浸水深は、桶川市に影響する荒川、利根川、中川流域及び江川において最大規模(1000年に1回程度)の降雨により、堤防の決壊などで河川が氾濫した時の最悪の浸水状況(すべての想定破堤点による浸水区域と浸水深を重ね合わせ)を表しています。

想定雨量

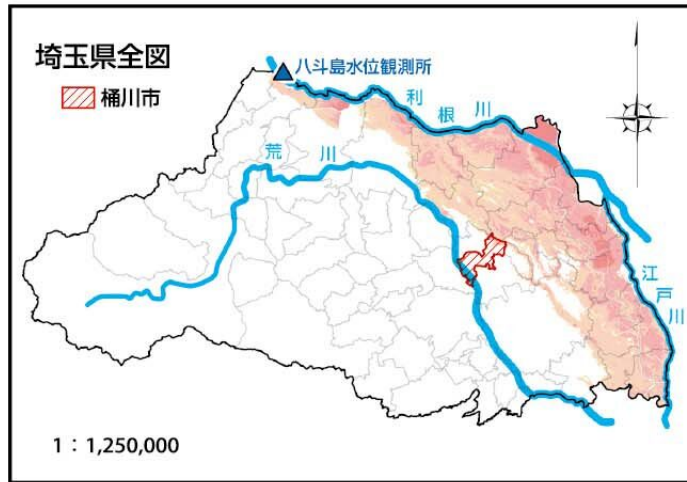
【荒川】 荒川流域の72時間総雨量が632mm(平成28年5月30日国土交通省指定)
 【利根川】 利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量が491mm(平成29年7月20日国土交通省指定)
 【中川流域】 中川流域の48時間総雨量が596mm(令和6年5月28日埼玉県指定)
 【江川】 江川流域の24時間総雨量が690mm(令和6年5月28日埼玉県指定)

各河川の浸水想定区域図

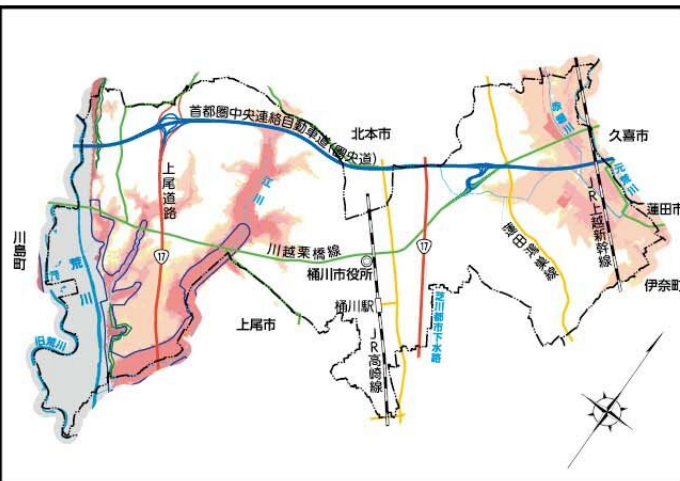
荒川(県全図)



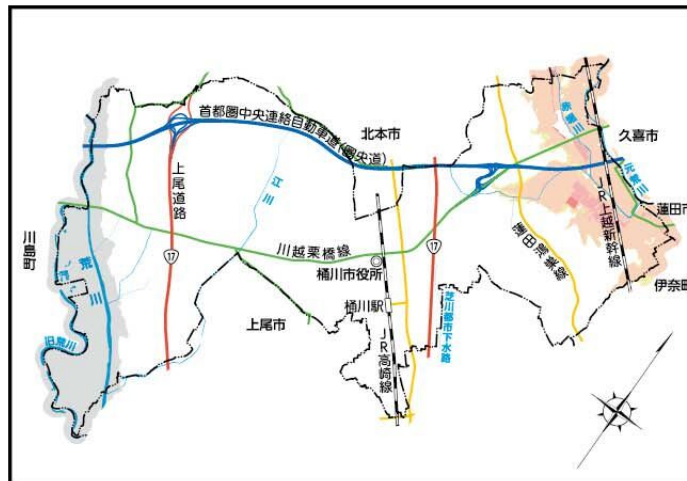
利根川(県全図)



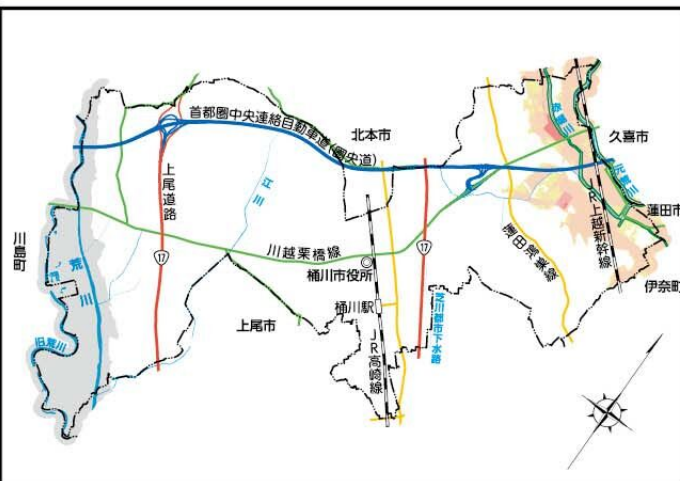
荒川



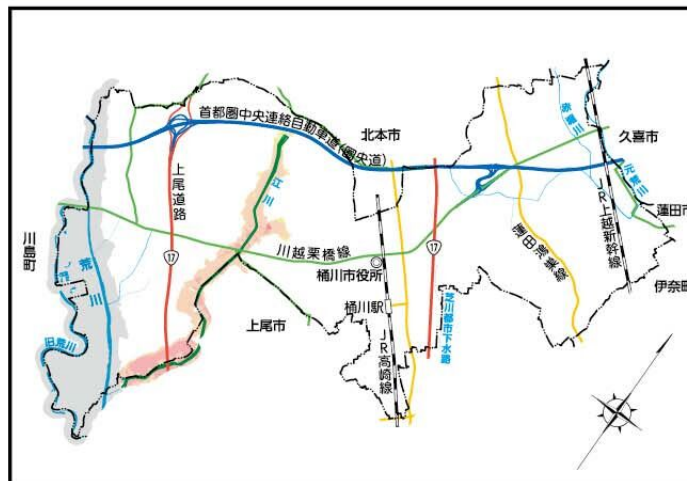
利根川



中川流域



江川



凡 例

10.0~20.0m未満

5.0~10.0m未満

3.0~5.0m未満

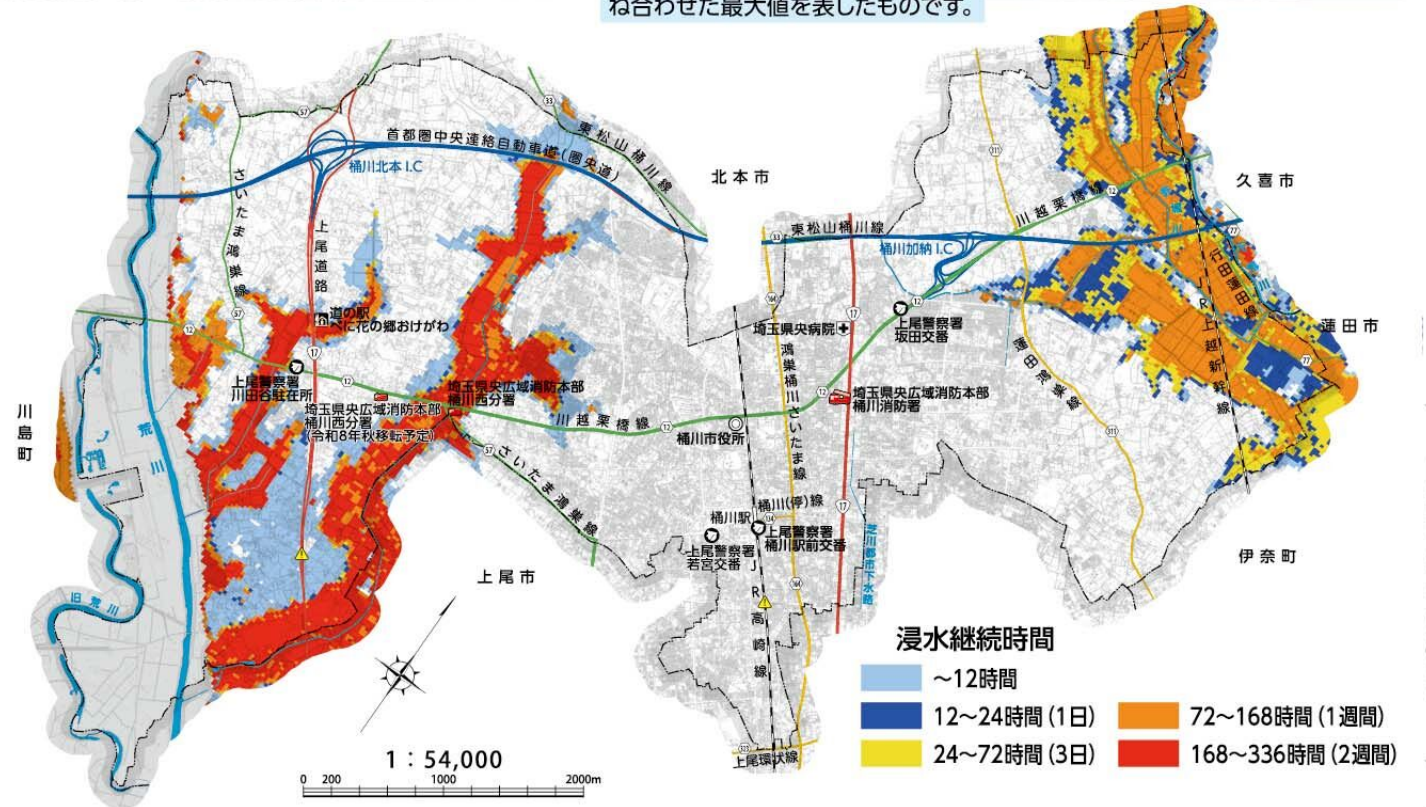
0.5~3.0m未満

0.0~0.5m未満

破堤点

浸水継続時間図

この図は荒川、利根川、中川流域、江川の各河川の浸水継続時間のシミュレーション(浸水深が50cmになってから50cmを下回るまでの時間の最大値)を重ね合わせた最大値を表したものです。



浸水継続時間

~12時間

12~24時間(1日)

24~72時間(3日)

72~168時間(1週間)

168~336時間(2週間)

浸水シミュレーション

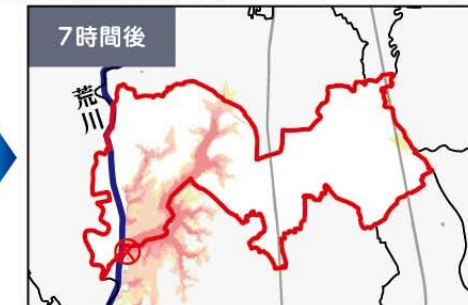
堤防決壊(破堤)後に、いつ・どのくらい浸水するかの変化を図で表したものです。

荒川のシミュレーション

河口から51.2kmの場所が破堤した場合(桶川市に氾濫水が一番早く到達し、影響が最も大きい想定破堤点です)



桶川市に影響がはじめる破堤後の時間



桶川市に最も被害の影響が大きいとみられる時間



桶川市からおおむね浸水の影響がなくなる時間

利根川のシミュレーション

河口から157.0kmの場所が破堤した場合(桶川市に氾濫水が一番早く到達し、影響が最も大きい想定破堤点です)



桶川市に影響がはじめる破堤後の時間



桶川市に最も被害の影響が大きいとみられる時間



桶川市からおおむね浸水の影響がなくなる時間

日ごろからの備え

地震ハザードマップ

洪水ハザードマップ